

## 数学2B 第7回（行列式の定義と性質，行列式の計算方法）

2019年11月12日（火）

担当：南 美穂子 (mminami@math.keio.ac.jp)

### お知らせ

中間試験を12月3日（火）の授業時間に行います。

- 試験時間：80分
- 場所：23教室
- 出題範囲：教科書の6章および7章

### 宿題の解答例

問題6-4. シュミットの直交化法を用いる。

$$\begin{aligned} \mathbf{v}_1 &= \mathbf{x}_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ -1 \\ -1 \end{bmatrix}, \\ \mathbf{v}_2 &= \mathbf{x}_2 - \frac{(\mathbf{v}_1, \mathbf{x}_2)}{\|\mathbf{v}_1\|^2} \mathbf{v}_1 = \mathbf{x}_2 - \frac{3+2-1+2}{1^2+1^2+(-1)^2+(-1)^2} \mathbf{v}_1 = \begin{bmatrix} 3 \\ 2 \\ 1 \\ -2 \end{bmatrix} - \frac{6}{4} \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ -1 \\ -1 \end{bmatrix} = \frac{1}{2} \begin{bmatrix} 3 \\ 1 \\ 5 \\ -1 \end{bmatrix}, \\ \mathbf{v}_3 &= \mathbf{x}_3 - \frac{(\mathbf{v}_1, \mathbf{x}_3)}{\|\mathbf{v}_1\|^2} \mathbf{v}_1 - \frac{(\mathbf{v}_2, \mathbf{x}_3)}{\|\mathbf{v}_2\|^2} \mathbf{v}_2 = \mathbf{x}_3 - \frac{2}{4} \mathbf{v}_1 - \frac{7}{9} \mathbf{v}_2 = \frac{4}{9} \begin{bmatrix} 3 \\ -2 \\ -1 \\ 2 \end{bmatrix}, \\ \mathbf{v}_4 &= \mathbf{x}_4 - \frac{(\mathbf{v}_1, \mathbf{x}_4)}{\|\mathbf{v}_1\|^2} \mathbf{v}_1 - \frac{(\mathbf{v}_2, \mathbf{x}_4)}{\|\mathbf{v}_2\|^2} \mathbf{v}_2 - \frac{(\mathbf{v}_3, \mathbf{x}_4)}{\|\mathbf{v}_3\|^2} \mathbf{v}_3 = \mathbf{x}_4 + \frac{1}{4} \mathbf{v}_1 + \frac{1}{36} \mathbf{v}_2 - \frac{1}{9} \mathbf{v}_3 = \frac{1}{2} \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \\ 0 \\ 1 \end{bmatrix}. \end{aligned}$$

正規化 ( $\mathbf{u}_i = \frac{\mathbf{v}_i}{\|\mathbf{v}_i\|}$ ) して

$$\mathbf{u}_1 = \frac{1}{2} \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ -1 \\ -1 \end{bmatrix}, \quad \mathbf{u}_2 = \frac{1}{6} \begin{bmatrix} 3 \\ 1 \\ 5 \\ -1 \end{bmatrix}, \quad \mathbf{u}_3 = \frac{1}{3\sqrt{2}} \begin{bmatrix} 3 \\ -2 \\ -1 \\ 2 \end{bmatrix}, \quad \mathbf{u}_4 = \frac{1}{\sqrt{2}} \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \\ 0 \\ 1 \end{bmatrix}. \quad \square$$

\*シュミットの直交化法でベクトルを求めたら、最後に『 $\{\mathbf{u}_1, \mathbf{u}_2, \mathbf{u}_3, \mathbf{u}_4\}$  が正規直交系となっていること』すなわち、

$$(\mathbf{u}_i, \mathbf{u}_j) = \begin{cases} 1 & i = j \\ 0 & i \neq j \end{cases}$$

が任意の  $i, j = 1, \dots, 4$  で成立していることを必ず確かめること。

## 演習問題

「宿題」と書かれた演習問題の答えを OCR 対応用紙に記し、次回の講義時に提出しなさい

問題 7-1.  $S_k (k \geq 1)$  は  $k$  次の置換全体を表す.

(1)  $S_2$  を求めなさい. また, 各  $\sigma \in S_2$  に対して, 符号  $\text{sgn}\sigma$  を求めなさい.

(2)  $S_3$  を求めなさい. また, 各  $\sigma \in S_3$  に対して, 符号  $\text{sgn}\sigma$  を求めなさい.

問題 7-2. 次の各置換が偶置換, 奇置換のいずれであるか調べなさい.

$$(1) \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 3 & 4 & 1 & 2 \end{pmatrix} \quad (2) \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 4 & 1 & 3 & 2 \end{pmatrix}$$

問題 7-3. 定義 7.1.4. から次の行列の行列式を求めなさい.

$$A = \begin{bmatrix} 0 & 1 & 1 \\ 1 & 0 & 1 \\ 1 & 1 & 0 \end{bmatrix}$$

問題 7-4. 命題 7.1.5. および命題 7.2.1. の結果を用いて, 問題 7-3 の行列  $A$  の行列式を求めなさい.

問題 7-5(宿題). 命題 7.1.5. および命題 7.2.1. の結果を用いて, 次の行列の行列式を求めなさい.

$$A = \begin{bmatrix} -1 & 1 & 0 & 2 \\ 0 & 2 & 3 & 0 \\ 1 & 1 & -1 & 2 \\ -2 & 0 & 3 & -3 \end{bmatrix}, \quad B_n = \begin{bmatrix} a & b & b & \cdots & b \\ b & a & b & \cdots & b \\ b & b & a & \cdots & b \\ \vdots & \vdots & \vdots & \ddots & \vdots \\ b & b & b & \cdots & a \end{bmatrix}$$

(注)  $B_n$  は,  $n$  次行列とし,  $a, b \in \mathbb{R}$  とする.